廊」と呼ばれる一帯を訪ねた。

を抱えている。

今回は敦煌から

武威までの約~

「河西回

同国を代表する多くの観光資源

世界遺産「莫高窟」をはじめ、西部の内陸に位置する同省は、

をはじめ、

視察ツアーに参加した。中国北中国国家観光局主催の甘粛省

新

濟



敦煌の鳴砂山。砂漠の中をラクダに乗り散策す ることができる



高さ35.5〜の仏像を保存する莫高窟の 第96窟(中は撮影禁止)

千秋传承 保护弘扬

大仏寺(中の大仏は撮影禁止)

のハイライ 甘粛省観光

●莫高窟

主力産業で、 要衝として古くから栄えた 現在は観光のほか農業が

クロー

ドがここで「天山北路」

「西域南道」

市。西安から西に伸びるシル

酒泉市の管轄にある県級

、大小735の洞窟のうち、

る。

世界で3番目の大きさを誇

像を保存。695年の造営で、窟で最大の高さ35・5㍍の仏

三つの道に分かれる。

交通の  $\mathcal{O}$ (らくそん)という僧が修行 界文化遺産に登録された。 最も有名な第96窟は、莫高ために作り始めたとされる。 北涼時代の4世紀に楽僔 987年、

高さ1

りするなどの砂遊びが楽し

ている。美しまで輸出され

トマトは遠くヨーロッ

長さ34 ・

る。

云術

奇

にある月牙泉

この風景区

るような音がすることからこ

ながら3千年以上も枯れずにをした池で、砂漠の中にあり

砂漠の中にあり

と世界を震撼させ、 -靖も小説で描き、映画化も 東西40計、南北20計に及ぶ ●鳴砂山・月牙泉 たり、 そりで砂り





河西回廊の中間地点にあ

周辺のオアシスを含めて

している。

という言い伝えがある ライハンがこの寺で 世紀からの文物5万点が偶然

## たえられている。 、自然に恵ま 人々から 「金張掖」とた

紀に作られた像は1千年う、世界最大の涅槃像。 マルコポー

などを一体的 光、環境保全

丹霞地質公園

る。チンギスハンの家博物館として保存さ



銅奔馬が出土した雷台の入り口



●嘉峪関

物だが、

度建て替える新しい建

銅奔馬のレプリカ

ほとんどが明の時代のものと

は甘粛省嘉峪関まで総延長

嘉峪関は万里の長城の西の

紀から時の政権が造成を続け

きた城壁。

現存する城壁は

ら国を守るため、

万里の長城は北方の外敵か



「嘉峪関」を長城の西端

長城

を開発して作った。

端にある関所。

そのまま市の

漢墓の入り口



現在は郊外を含めて人口18地域一帯の中心都市だった。

代の将軍の墓が偶然発見され の農民が井戸を掘ると後漢

Ŋ

踏む様子を表したもの。

疾走する馬が燕を

製の馬の像「銅奔馬(馬踏飛長さ45秒、重さ7・15㌔の銅

回廊の東端に位置。

ジャガイモなどの農業が盛ん

。小麦、トウモロコシ、

で、ワインの産地としても有

のうちの一つ、高さ34・5だ、

点に及ぶ埋葬品が出土。 約6平方
がの墓室から23

る。 のロゴマ

城壁は登ることができる





第一墩展望台の入り口

とはのろし

8割方が明代当時の ●長城第一墩



往時を思わせる関所の楼閣

## アートが誘う中国の旅「線の芸術~孫玉敏現代中国絵画展」

中国国家観光局駐日本代表処と東京中国文化センタ ーは7月27日から31日までの5日間、アートが誘う中 国の旅「線の芸術~孫玉敏現代中国絵画展」を東京都 港区の東京中国文化センターで開く。中国美術家協会 理事、中国工筆画学会理事で著名な芸術家である孫玉 敏氏の絵画作品約50点を展示し、現代中国絵画の数々 を紹介する。孫玉敏氏の線が織りなす芸術性の豊かな 作品の鑑賞を通じて、日本の人々に現代中国絵画への 理解を深めてもらう。また、清華大学彫塑研究所所長 の王洪亮氏による「浮彫の光と線」セミナーなど多項 目にわたる活動を行う。

## アートが誘う中国の旅 「線の芸術~孫玉敏現代中国絵画展」

開幕式:7月27日(月)15時30分~

内容:来賓・主催者挨拶、テープカット、絵画披露 交流

展示: 7月27日(月)~31日(金)時間:10時30分 ~17時30分 (※最終日15時まで) セミナー: 7月30日(木) 「浮彫の光と線」15時30

分~17時30分 講師・王洪亮氏 開催地:東京中国文化センター東京都港区虎ノ門

3-5-1 37森ビル1階 入場料:無料

主催団体:東京中国文化センター、中国国家観光局

駐日本代表処 共催団体:清華大学彫塑研究所、清華大学美術学院 後援団体:中華人民共和国駐日本国大使館文化部、 公益社団法人日中友好協会、日中友好議員連盟、社団 法人日中協会、一般社団法人日本旅行業協会、一般社 団法人全国旅行業協会、一般社団法人東京華僑総会 (上記予定含む)











〈出展者プロフィル〉

孫玉敏

教授。中国美術家協会理事、 中国画学会理事、中国工筆画学 会理事、清華大学美術学院研究 員。代表作品《天天向上》、 《静静的樺林》、《春蚕》、 《三個女性》、《清茶》等。こ れまで第8回全国美術展、国際 青年年中国青年美術展、中国体 育美術展、中国画中華杯大賞賽、 中国建軍60周年美術展、初回中 国重彩画大展、第2回国際オリ ンピック体育と芸術大賽など国 内外の多数の展覧会で優秀賞お よび金賞を受賞。出版に《孫玉 敏作品集》、《エジプト浮き彫 り芸術》、《速写と創作》等が ある。作品が中国、韓国、カナ ダ、国際オリンピック委員会等 の美術館および機構に収蔵され ている。